

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科： ウェブ・メディア科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	動画演習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
2	HTML/CSSⅠ	1	60	4	必修	実習	有
3	HTML/CSSⅡ	1	90	6	必修	実習	有
4	JavaScriptⅠ	1	60	4	必修	実習	有
5	JavaScriptⅡ	1	60	4	必修	実習	有
6	色彩検定対策	1	15	1	必修	講義	有
7	データベース演習	1	30	2	必修	実習	有
8	ポートフォリオ制作	1	60	4	必修	実習	有
9	進級制作1	1	30	2	必修	実習	有
10	進級制作Ⅱ	1	60	4	必修	実習	有
11	業界研究	1	30	2	必修	講義	有
12	デザイン基礎Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
13	デザイン基礎Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
14	アプリケーション演習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
15	アプリケーション演習Ⅱ	1	30	2	必修	実習	有
16	アルゴリズム	1	60	4	必修	講義	有
17	Office基礎	1	30	2	必修	実習	有
18	Webデザイン実践	1	15	1	必修	実習	有
19	資格対策Ⅰ	1	60	4	必修	講義	有
20	資格対策Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
21	基礎学力Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
22	就職対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
23	プレゼンテーションⅠ	1	30	2	必修	実習	有
24	体育実習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	無
25	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	動画演習Ⅰ		黒澤 純一	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができる Adobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。							
【講義概要】							
動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。また、制作した動画をWebサイトに実装する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義概要、動画の仕組みと効果、ウェブでの活用方法について解説 Premiere Pro演習① 作業フォルダ作成・カット編集・書き出しの一連を体験する シーケンス、クリップ、タイムラインなどの主なワークスペースの解説						
2	Premiere Pro演習② テロップ、画像合成、サウンド調整・BGMの追加、カラー補正について						
3	Premiere Pro演習③ 各種エフェクト項目、キーフレームアニメーションについて、スライドショー作成						
4	ウェブ活用① YouTubeへの動画のアップロード、ウェブ用のエンコードや対応形式について、 動画のファイル形式と種類、フレームレート/サイズ(解像度)、コンテナ/コーデックの理解						
5	ウェブ活用② YouTube配信について、画面録画・配信ツールOBS Studioについて						
6	ウェブ活用③ ウェブページに動画を埋め込む・外部サイト(YouTubeなど)の動画を埋め込む方法、 video / iframeタグの属性、各環境での動画再生の特性について解説						
7	前回までの復習を兼ねた課題制作（次回の確認テスト対策）						
8	確認テスト・・・①文章問題：基本的な動画に関する知識 ②実技：基本的な動画編集、ウェブページへの動画の埋め込み						
9	広告研究① PR動画の制作手法などを学習して「伝わる動画」について理解する						
10	広告研究② テーマに沿ったPR動画の制作、動画におけるデザインについて						
11	課題制作① 学科説明動画・CM制作						
12	課題制作② 続き						
13	課題制作③ 完成 観賞/評価会						
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作①						
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作②						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	HTML/CSS I		榎本博文	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウェブページを構成する主要要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。							
【講義概要】							
HTML/CSSの基本的な知識と記述方法について学習し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基礎① ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTML/CSSの概要説明と記述体験						
2	基礎② HTMLの基本的な書式の解説、各種タグの記述演習						
3	基礎③ CSSの基本的な書式の解説、各種プロパティの記述演習						
4	基礎④ レイアウトについて、ボックスモデルの構造と関連するCSSプロパティの記述演習						
5	小テスト1、解答解説						
6	基礎⑤ フレックスボックスとグリッドレイアウトの解説、記述演習1						
7	基礎⑥ フレックスボックスとグリッドレイアウトの解説、記述演習2						
8	基礎⑦ ナビゲーション、フォームについて、関連するHTMLタグの記述演習						
9	基礎⑧ レスポンシブデザインとメディアクエリの解説、記述演習						
10	基礎⑨ 複数ページあるウェブサイトの制作、復習						
11	小テスト2、解答解説						
12	実践 ウェブページ制作課題① 自己紹介サイト						
13	実践 ウェブページ制作課題② 自己紹介サイト、作品発表						
14	課題 レポート						
15	課題 ウェブサイト制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東（著）、SBクリエイティブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	HTML/CSS II		榎本博文	有	6 単位 90 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
前期に学んだHTML/CSSの基礎をもとに後期ではウェブサイトの制作を通して実践的な制作スキルを身につける。							
【講義概要】							
ウェブサイトの制作をこなしながら、内部SEOやSNS連携、APIの活用方法などを講義する。 CSS設計や仕様書に沿ったサイト制作などより実践的な内容を学ぶ							
回	授業計画及び学習の内容						
1	HTML/CSSの基礎復習 ウェブページレイアウト						
2	ランディングページ作成						
3	レスポンシブウェブデザイン						
4	レスポンシブウェブデザイン						
5	レスポンシブウェブデザイン						
6	ブログページ作成						
7	コーポレートページ作成						
8	イベントサイト作成						
9	ギャラリーサイト作成						
10	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
11	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
12	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
13	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
14	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
15	総合演習課題・ポートフォリオサイト制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	JavaScript I		山田忍	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。							
【講義概要】							
プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。 各自10分ほどでJavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	JavaScriptの基本 プログラムの仕組み、JavaScriptの基礎、環境構築、画面に出力する						
2	JavaScriptの基本 数値の計算、文字列の表現						
3	JavaScriptの基本 変数、型、関数						
4	JavaScriptの基本 関数、条件分岐、正規表現、演算子						
5	JavaScriptの基本 関数、条件分岐、正規表現、演算子						
6	データ操作の基本 配列、オブジェクト、JSON						
7	データ操作の基本 制御構文						
8	データ操作の基本 制御構文						
9	データ操作の基本 イベント処理						
10	APIからデータを取得し、使用する						
11	APIからデータを取得し、使用する						
12	総合演習						
13	総合演習						
14	総合演習						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
これからのJavaScriptの教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	JavaScript II	山田忍	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
前期で学んだJavaScriptの基本を踏まえ、ウェブ上での振る舞いやウェブアプリケーションへの実装方法を理解する							
【講義概要】							
Webサイトやウェブアプリケーションを作成しながらJavaScriptをより深くまで学ぶ 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス JavaScriptの基本 前期復習（計算、変数、配列、オブジェクト、データ型、関数、DOM操作）						
2	基本のデータ操作 非同期処理						
3	基本のデータ操作 正規表現、フォーム操作						
4	基本のデータ操作 オブジェクト、クラス						
5	基本のデータ操作 Canvasについて☒						
6	モジュールについて						
7	様々なライブラリについて						
8	課題 Webページ上で扱う						
9	課題 Webページ上で扱う						
10	課題 アプリケーション作成						
11	課題 アプリケーション作成						
12	総合演習課題						
13	総合演習課題						
14	総合演習課題						
15	総合演習課題						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
これからのJavaScriptの教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	色彩検定対策	榎本博文	有	1 単位 15 時間		
	実習	Webデザイン実践		有	1 単位 15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
色彩について学び、色の基礎知識や配色のルールを理解する。その知識を作品制作などに役立てる。 6月に行われる色彩検定の合格をクラス全員で目指します。							
【講義概要】							
本講義では色彩検定の取得を目的とした講義を展開する。 色彩検定の受験終了後はその知識を活かすための演習を行う。 ウェブサイトの色彩設計を学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	色彩を学ぶ意義、色彩検定について、色のユニバーサルデザイン						
2	色が見える仕組み						
3	色の表し方						
4	色覚タイプによる色の見え方						
5	高齢者の見え方、色のUDの進め方						
6	色彩検定 対策問題						
7	色彩検定 対策問題						
8	色彩検定 対策問題						
9	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
10	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
11	制作課題：Webサイトの色彩設計						
12	制作課題：Webサイトの色彩設計						
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
色彩検定教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	データベース演習		龔 恵美子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
SQLの演習を通して、DDLを用いたDB・TABLE作成、およびDMLによる基本的なデータ操作を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	データベースとは						
2	演習用データベース環境の構築						
3	4 大命令の成り立ちと覚えるコツ		(SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文)				
4	操作対象の絞り込み		(WHERE句、条件式、比較演算子、主キー)				
5	検索結果の加工		(DISTINCT句、ORDER BY句)				
6	文字列にまつわる関数		(LENGTH関数、TRIM関数、REPLACE関数、SUBSTRING関数、CONCAT関数)				
7	集計関数とグループ化		(GROUP BY句、MAX関数、MIN関数、SUM関数、AVG関数、COUNT関数)				
8	副問い合わせⅠ		(単一行副問い合わせ)				
9	副問い合わせⅡ		(複数行副問い合わせ)				
10	副問い合わせⅢ		(表副問い合わせ)				
11	複数テーブルの結合 内部結合		(JOIN句)				
12	複数テーブルの結合 外部結合		(LEFT JOIN句、RIGHT JOIN句、FULL JOIN句)				
13	テーブル作成 データ型と制約Ⅰ		(数値型、文字列型、日時型、NOT NULL制約、UNIQUE制約、CHECK制約)				
14	テーブル作成 データ型と制約Ⅱ		(主キー制約、外部キー制約)				
15	総まとめ、SQL強化演習						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
【教科書・参考文献】							
スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	ポートフォリオ制作		黒澤 純一	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
1 年次前期に取り組んだ課題をポートフォリオサイトとしてまとめる。							
【講義概要】							
クリエイターとして活動するには、制作スキルはもちろんポートフォリオや能力をアピールするプレゼン力が必要である。ポートフォリオ制作について個別の指導を行う。夏休みの宿題として初版作成した、紙のポートフォリオをブラッシュアップして学園祭で展示。その後はポートフォリオサイトを制作し、就活用に自身のWebサーバーで公開する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	本講義のガイダンス、ポートフォリオとは？						
2	ポートフォリオ制作(DTP)						
3	ポートフォリオ 学園祭 展示						
4	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
5	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
6	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
7	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
8	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
9	中間発表①						
10	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
11	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
12	ポートフォリオ制作(Webサイト)						
13	中間発表②						
14	ポートフォリオ(DTP・Webサイト) 修正・ブラッシュアップ						
15	進級制作展示会 展示						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	進級制作1		榎本博文	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
プロフェッショナルなウェブ開発者として成長するための実践的なコースです。個別のプロジェクトを進めながら、フロントエンドおよびバックエンドの開発スキルを向上させ、チームワークとプロジェクト管理の能力を磨きます。							
【講義概要】							
ウェブページ制作やデザインの授業で学んだ基礎的な項目を元にポートフォリを作成やグループワークなどの課題を制作する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	進級制作についての概要説明と目標説明に関して						
2	プロジェクトのスコープと要件の明確化						
3	HTML、CSS、JavaScriptの基礎のおさらいと、チーム作業に関して						
4	チームでのプロジェクト発表 その1						
5	チームでのプロジェクト発表 その2						
6	成果発表とフィードバック						
7	チームでのプロジェクト発表 その3						
8	チームでのプロジェクト発表 その4						
9	成果発表とフィードバック						
10	チームでのプロジェクト発表 その5						
11	チームでのプロジェクト発表 その6						
12	成果発表とフィードバック						
13	チームでのプロジェクト発表 その7						
14	チームでのプロジェクト発表 その8						
15	成果発表とフィードバック						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（	合計
割合		40%		10%	50%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、 6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
Google アナリティクス アカデミー（Google公式サイト）など							

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程			ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期	
講義区分		授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	実習	進級制作Ⅱ	榎本博文	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
プロフェッショナルなウェブ開発者として成長するための実践的なコースです。個別のプロジェクトを進めながら、フロントエンドおよびバックエンドの開発スキルを向上させ、チームワークとプロジェクト管理の能力を磨きます。							
【講義概要】							
ウェブページ制作やデザインの授業で学んだ基礎的な項目を元にポートフォリを作成やグループワークなどの課題を制作する。3月に展示会があるため、就職活動を意識した制作物をポートフォリオに掲載する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	進級制作についての概要説明と目標説明に関して						
2	プロジェクトのスコープと要件の明確化						
3	HTML、CSS、JavaScriptの基礎のおさらいと、データベースの利用						
4	チームでのプロジェクト発表 その1						
5	チームでのプロジェクト発表 その2						
6	成果発表とフィードバック						
7	チームでのプロジェクト発表 その3						
8	チームでのプロジェクト発表 その4						
9	成果発表とフィードバック						
10	チームでのプロジェクト発表 その5						
11	チームでのプロジェクト発表 その6						
12	成果発表とフィードバック						
13	チームでのプロジェクト発表 その7						
14	チームでのプロジェクト発表 その8						
15	成果発表とフィードバック						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%		10%	50%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
Google アナリティクス アカデミー（Google公式サイト）など							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	業界研究	大武政満	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
どんな職業でも相手に何をやりたいかを伝えるためのツール「企画書」は必須である。だが社会の仕事は様々な人に関わることが多く、多種多様な価値観が必要となる。そこで、自分の推すプロジェクトを成立させるための企画書作りとそれを実現させるための方法と価値観を学んでいこう。目標は企画書を作り出すあなた自身の魅力を高めることである。							
【講義概要】							
クリエイティブの発想力を養いながら企画書の作りかたを学びつつ、座学とゲスト講師を通じて、様々なクリエイティブ業界の構造と仕事のスタイルについて学ぶ。また、不定期にクリエイティブ業界について現役の方を呼び、簡単なお話と質疑応答などを行う。その場合は簡単なレポートを書く。テストは発想力を試すテストを行い、テストの点と企画書におけるブラッシュアップの力を採点に置いて重視する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業ガイダンス・企画書の説明と逆企画書の説明(推しのコンテンツを企画書化するに当たって題材の選定)						
2	逆企画書作成・フィードバック						
3	逆企画書プレゼン・人狼で企画を作ろう						
4	人狼の 1 P 企画書・業界仕事の進め方フローや役割						
5	ゲームジャンル&アプリゲーム簡易企画書						
6	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
7	中間試験						
8	ゲーム企画書作成・お話の構造とフローチャートについてOR業界ゲスト						
9	ゲーム企画書作成・絵コンテ・イラストをつける						
10	ゲーム企画書作成・ブラッシュアップOR業界ゲスト						
11	ゲーム企画書プレゼン						
12	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
13	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト						
14	まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（コミュニケーション力）	合計
割合		40%	10%	10%	20%	20%	100%
(補足)		柔軟な発想力と課題を提出するだけでなく、課題の精度を高めるために直しを受けて直せる能力を高く評価する。					
【教員紹介】		大武政満					
脚本家・コンテンツプランナー 代表作：ダンボール戦機、天華百剣、ニンジャラ 専門学校&サブカル教室講師歴18年。企画と漫画・小説シナリオ・声優関連などで教鞭をとる 現役でアニメ脚本、大手ゲーム会社のシナリオ、漫画のネーム作家などを担当 第三回東北新社・ファミリー劇場協賛アニメ企画大賞にて奨励賞受賞（2005年）							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎Ⅰ	福屋貞行	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習します。座学学習と実習学習を相互に取り入れ、講義の終盤では、実践演習を行います。常にものづくりへのアンテナを張り、街中に溢れているデザイン、UI/UXを意識し「何故そのデザインなのか？」と考える力を養うことを目的とします。							
【講義概要】							
事業形態は、講義が中心となります。 前半は教本を使用した座学が中心です。 後半は授業の前日に課題を提出（主に紙、WEBのデザイン）していただき、プレゼンテーション、講評を行います。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	教本【デザイン入門教室】リサーチ課題：広告集め						
2	教本【デザイン入門教室】						
3	教本【デザイン入門教室】リサーチ課題：広告集め講評1						
4	教本【デザイン入門教室】						
5	教本【デザイン入門教室】						
6	教本【デザイン入門教室】実践演習1 Vol.01：チラシ制作（課題出題）						
7	実践演習1 Vol.01：チラシ制作(中間講評)						
8	実践演習1 Vol.02：チラシ制作(最終講評)、実践演習2 Webサイト制作1(課題出題)						
9	実践演習2 Vol.01：Webサイト制作1(中間講評1)						
10	実践演習2 Vol.02：Webサイト制作1(中間講評2)						
11	実践演習2 Vol.03：Webサイト制作1(最終講評)、実践演習3 Webサイト制作2(課題出題)						
12	実践演習3 Vol.01：Webサイト制作2(中間講評1)						
13	実践演習3 Vol.02：Webサイト制作2(中間講評2)						
14	実践演習3 Vol.03：Webサイト制作2(最終講評)、実践演習4 Webサイト制作3(課題出題)						
15	実践演習4 Vol.01：Webサイト制作3(中間講評1)※後期も継続						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
現在はIT企業の制作部門で、制作からマネジメントに従事しております。 よろしくお願いいたします。							
【教科書・参考文献】							
デザイン入門教室							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎Ⅱ	福屋貞行	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
本講義では、初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。 「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習する。（前期と同様） デザイン自体を表層的なものとするのではなく、あらゆるものに該当し、例えばプログラミングなどで表現できる動きやUI／UXもデザインの一部だと理解する。 実制作を中心に経験を積み、相手に伝わるデザイン、プレゼンテーションを心掛ける。 作って終りではなく、しっかりと振り返りをし、より完成に近づける姿勢を身に付ける。							
【講義概要】							
教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ハイジアカリスマスバナー個人講評 作品提出直前講評						
2	前期課題「フライヤー」最終講評法則vol. 01】 前期最終課題のA4 サイズフライヤーの最終講評						
3	名刺作成 講評 イラストレーターを使用した名刺の講評						
4	優れたUI/UX（第1回） 身近にある優れたUI/UXの既製品(ゲームなどでも可)をリサーチし、グループワークにて、プレゼン資料としてまとめる						
5	優れたUI/UX（第2回） 第4回のプレゼンを行う(チームの全員がスピーカーとして話す)						
6	フリーデザイン（課題説明） 自らモチーフを決めて、作品を作る課題の方向性確認。提出形態は自由。						
7	中間試験						
8	美術館、展覧会レポート 提示された中から1つ興味のある催事を選び、感想（得たもの、感じたこと、自分との対比、今後の方向性など）をレポートにまとめてプレゼン						
9	美術館、展覧会レポート、ポートフォリオ 初回チェック 第7回の続きと、ポートフォリオの初回チェック(方向性と不足要素の確認)						
10	ポートフォリオ 初回チェック 第8回の続き						
11	フリーデザイン 作品プレゼン 第6回フリーデザインのプレゼンと講評						
12	ポートフォリオ 中間チェック（個人） ポートフォリオプレゼン前の確認						
13	ポートフォリオ プレゼン（第1回） ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う出題）						
14	ポートフォリオ プレゼン（第2回）、総表 ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		10%	30%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
Web制作会社にてエンジニアとして業務に従事							
【教科書・参考文献】							
やさしいデザインの教科書[改訂版]							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	実習	アプリケーション演習Ⅰ	黒澤 純一	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Adobe Photoshop の基本的な技術習得を目指す。 また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。							
【講義概要】							
Adobe Photoshop の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、 学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義概要、Adobe Photoshopの基本情報について、できることや現代の使われ方について解説、基本操作の演習						
2	画像編集の基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念の理解）						
3	画像編集の基本を知る②（画像の切り抜き、明るさ/色の調整、選択範囲とマスク、レタッチ、画像合成など）						
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）						
5	ポスター制作を通じてPhotoshopが得意なデザインを学ぶ（写真のレタッチ、レイヤースタイル、フィルターなど）						
6	確認テスト						
7	画像素材の持つ効果や特性について学ぶ（ウェブサイトや広告での画像の使われ方、写真の構図について）						
8	画像編集の表現の幅を広げる演習（高度なレタッチ・合成、立体表現など）						
9	ウェブ広告のデザイン制作（種類とその役割について知る、各種バナー広告のデザイン制作）						
10	課題 デザイン制作① 制作物の概要説明、実践的な制作フローに基づいて制作する						
11	課題 デザイン制作② 制作						
12	課題 デザイン制作③ 完成、作品発表						
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作①						
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作②						
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作③						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事	
【教科書・参考文献】						講義内容に沿ったテキストの配布	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	実習	アプリケーション演習Ⅱ	黒澤 純一	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Adobe Illustrator の基本的な技術習得を目指す。 また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。							
【講義概要】							
Adobe Illustrator の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、 学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義概要、Adobe Illustratorの基本情報について、できることや現代の使われ方について解説、基本操作の演習						
2	ドローソフトの基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念の理解）						
3	ドローソフトの基本を知る②（各種図形の描画、パスの操作/描画、オブジェクトの塗りと線など）						
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）						
5	確認テスト						
6	チラシ制作を通じてIllustratorが得意なデザインを学ぶ（デザインの4原則の意識、印刷用の各種設定など）						
7	ロゴやアイコン素材の持つ効果や特性について学ぶ（各種メディアでの使われ方など）						
8	課題 名刺作成① 概要説明、デザイン考案						
9	課題 名刺作成② 制作						
10	課題 名刺作成③ 制作						
11	課題 名刺作成④ 制作						
12	課題 名刺作成⑤ 完成、印刷会社へ入稿						
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作①						
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作②						
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作③						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったテキストの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム	坂井 剛	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
プログラミングにおいて処理の基本となるアルゴリズムの基礎を学習する。 また、本講義は基本情報技術者試験科目Bの対策を視野に入れた内容となる。							
【講義概要】							
課題演習として指定したアルゴリズムをフローチャート、およびプログラムとして作成する課題を出題する。 ※本講義は基本情報技術者試験（FE）取得で免除となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは、フローチャート、疑似言語						
2	変数、データ型、演算						
3	比較分岐						
4	繰り返し処理						
5	高度な条件分岐と繰り返し						
6	配列、リスト、構造体						
7	中間試験						
8	定義済処理（関数）						
9	キュー、スタック、木構造						
10	配列探索①						
11	配列探索②						
12	値の挿入、削除						
13	ソート①						
14	ソート②						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。							
【教科書・参考文献】							
「ITワールド」（インフォテックサーブ） 「[改訂新版] 基本情報技術者【科目B】 アルゴリズム×疑似言語トレーニングブック」（技術評論社） 「基本情報技術者【科目B】 ゼロからわかるアルゴリズムと疑似言語」（技術評論社）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門 必修	実習	Office基礎	佐藤 薫	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Office（Word、Excel、PowerPoint）の基本操作とGoogleアプリ（ドキュメント、スプレッドシート、スライド）を実習を通して習得する。Wordは基本的な文書の作成、Excelは関数を含む表作成とグラフ作成まで、PowerPointはプレゼンテーションの作成を学習する。GoogleアプリはOfficeと同等レベルの文書を作成できるようになり、ファイル設定や共有などの機能も理解すること。							
【講義概要】							
Windows版のOfficeの基本操作を実習を通して学び、その後、Googleアプリの使用方法を実習する。OfficeとGoogleアプリは画面は違うが同じような機能があるので、どちらも操作を習得すること。Officeは教科書を使用し、Googleアプリは資料を配布。毎回、1～2問の課題を配布するので、仕上げて必ず提出すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Wordの基本操作、文字入力、ページ設定						
2	Wordの書式設定（文字書式、段落書式、印刷）						
3	Wordの表作成、画像の挿入						
4	Excelの基本操作、表作成、四則演算、表示形式						
5	Excelの関数（合計、平均、数値の個数など）						
6	Excelのグラフ作成と編集						
7	PowerPoint プレゼンテーションの作成（スライドの新規作成、オブジェクトの挿入、デザイン設定）						
8	PowerPoint プレゼンテーションの編集（図形描画、SmartArt、スライドショー）						
9	練習問題（Office全般）						
10	Googleアプリの基礎知識、Googleドキュメントの作成						
11	Googleスプレッドシートの作成と編集						
12	Googleスライドの作成と編集						
13	Googleアプリの機能（Excelデータのインポート、共有設定など）						
14	まとめ						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で社会人向けのOffice研修を担当。Office関連の書籍の執筆も担当							
【教科書・参考文献】							
30時間でマスター Office2019（実教出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	Webデザイン実践	榎本博文	有	1 単位 15 時間		
	講義	色彩検定対策		有	1 単位 15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
色彩について学び、色の基礎知識や配色のルールを理解する。その知識を作品制作などに役立てる。 6月に行われる色彩検定の合格をクラス全員で目指します。							
【講義概要】							
本講義では色彩検定の取得を目的とした講義を展開する。 色彩検定の受験終了後はその知識を活かすための演習を行う。 ウェブサイトの色彩設計を学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	色彩を学ぶ意義、色彩検定について、色のユニバーサルデザイン						
2	色が見える仕組み						
3	色の表し方						
4	色覚タイプによる色の見え方						
5	高齢者の見え方、色のUDの進め方						
6	色彩検定 対策問題						
7	色彩検定 対策問題						
8	色彩検定 対策問題						
9	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
10	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
11	制作課題：Webサイトの色彩設計						
12	制作課題：Webサイトの色彩設計						
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
色彩検定教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	資格対策Ⅰ	川前 亘	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
情報検定(J検)情報活用試験3級および、Webリテラシーへの合格を目標とする						
【講義概要】						
中間試験まではJ検の中で最も易しい3級の対策を行い、情報系分野の基礎知識を習得する。 その後は上位資格として、Webリテラシーの合格対策を行う予定。 余裕があれば、途中からITパスポート対策を行う						
回	授業計画及び学習の内容					
1	イントロ / J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報社会とコンピュータ）					
2	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報機器の基本操作）					
3	J検3級対策： 解説&過去問題演習（インターネット）					
4	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報モラル）					
5	J検3級対策： 小テスト / 解説&過去問題演習（パソコンの基礎）					
6	J検3級対策： 解説&過去問題演習（情報表現と処理手順）					
7	中間試験					
8	Webリテラシー（導入／Webの基礎知識）					
9	Webリテラシー（インターネットビジネス）					
10	Webリテラシー（プロジェクトマネジメント） / 小テスト					
11	Webリテラシー（Webサイトの企画設計）					
12	Webリテラシー（Webデザイン／制作業務）					
13	Webリテラシー（Webデザイン／制作業務）					
14	Webリテラシー（Webマーケティング）					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%	15%		10%		100%
(補足)						・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有						
【教科書・参考文献】						
※購入時期はこちらから指定 J検3級 無料で公開されている過去問題集 ITパスポート対策：令和7年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著／株式会社インプレス Webリテラシー：Webリテラシー 公式テキスト／株式会社ボーンデジタル						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	資格対策Ⅱ		川前 亘	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポートへの合格を目標とする							
【講義概要】							
前期の資格対策Ⅰの後続授業として、ITパスポートの対策受講を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	資格対策授業の概要						
2	ITパスポート ストラテジ対策						
3	ITパスポート ストラテジ対策						
4	ITパスポート ストラテジ対策						
5	ITパスポート ストラテジ対策						
6	ITパスポート マネジメント対策						
7	中間試験						
8	中間試験試験振り返り						
9	ITパスポート マネジメント対策						
10	ITパスポート テクノロジ対策						
11	小テスト						
12	ITパスポート テクノロジ対策						
13	ITパスポート テクノロジ対策						
14	ITパスポート テクノロジ対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有							
【教科書・参考文献】							
※前期と同様（追加購入の必要なし） ITパスポート対策：令和7年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著／株式会社インプレス							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる						
【講義概要】						
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など						
回	授業計画及び学習の内容					
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）					
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題					
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題					
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み					
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題					
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習					
7	中間試験					
8	図形問題（角度）					
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）					
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題					
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題					
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）					
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題					
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。
【教員紹介】						
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。						
【教科書・参考文献】						
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ	石井眞木子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ （価値観のワーク）						
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解						
3	働くことの意味、社会人との違いの理解						
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」						
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」						
6	お金の話（給与＋残業代）						
7	中間試験						
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、S E の業務内容の理解						
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等						
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」						
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと						
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢						
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践						
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		10%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅠ	黒澤くみこ	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
☐社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける ☐社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得 ☐社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける ☐それらを就職活動に活かす							
【講義概要】							
社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	後期授業のガイダンス、スピーチ（後期授業に向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」						
2	印象管理、信頼される挨拶態度について、ショートスピーチ						
3	学生と社会人の違いについて（意識変革、行動変革） ショートスピーチ						
4	優れた自律型人財の要件 （社会人としての心構えと行動について）						
5	就職活動に必要なマナー、言葉遣い						
6	敬語テスト、回答、						
7	ここまでのまとめ						
8	電話対応スキルアップ						
9	会社訪問をイメージしたロールプレイング						
10	ビジネスコミュニケーションケーススタディ スピーチ						
11	コミュニケーションステップ						
12	対人影響力とリーダーシップ						
13	グループワーク「コンセンサスの取り付け」						
14	総まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		10%	30%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
1988年、有限会社シービー設立 35年間に亘り企業における人材育成（コミュニケーションに重点を置いた研修）に携わる 1989年より東京電子専門学校にて、情報系の授業を担当（ビジネスマナー、表現技法、プレゼンテーション、） 著書「営業マンはお辞儀をするな」							
【教科書・参考文献】							
講義内容に沿ったプリントの配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 通年		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅰ	ウェブ・メディア科 担当教員	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキングやスポーツ大会、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)						
2							
3							
4	学園祭準備（1 日目、2 日目）						
5							
6							
7	学園祭（1 日目）						
8							
9							
10	学園祭（2 日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2025		1 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅰ	ウェブ・メディア科 担当教員	無	1 単位 15 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。						
【講義概要】						
参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に 1 単位を認定する						
回	授業計画及び学習の内容					
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など					
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合				50%	50%	100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
-						
【教科書・参考文献】						
-						